

上森町長 こんにちは。早速ですが、このお仕事を始められたきっかけは？

小谷さん 元々、祖父から養鶏場を経営していて、私はバルブ関係の仕事をしています。時間に追われる日々疑問を感じ、会社を辞めたことがきっかけです。子供の頃から手伝っていたこともあり、自然に養鶏場で仕事を始めることができました。

上森町長 そうですか。小谷さんの玉子は能勢町観光物産センターで販売されていますよね。

小谷さん 能勢町観光物産センターで購入していただくことができます。

上森町長 良い玉子、そして美味しい卵とはどのようなものなのでしょう？また、おすすめの料理方法はありますか？

小谷さん まず安全、安心で新鮮な玉子です。その上でコクがあり、クセがないのが美味しい玉子です。生の方が卵の味を味わうことができますので、私は卵かけご飯にして食べることがオススメです。黄身だけ乗せて食べるのも美味しいですよ！

上森町長 黄身だけ乗せて食べるのは贅沢ですね！販売している卵の大きさは一般的にMサイズ、Lサイズだと思のですが、サイズに差が出るのは何



小谷養鶏場の小谷 健造（こたにけんぞう）さん。鶏たちの環境とエサにこだわり、美味しい卵づくりをしています。

故なんでしょうか？また小さい卵はどうなっているのですか？

小谷さん 卵の大きさは産む鶏の年齢によって変わるんです。若い鶏が産む卵は小さく、年齢が高くなるにつれて大きい卵を産むようになります。Mサイズ、Lサイズは販売しますが、それ以下のサイズは業務用に出しています。

上森町長 鶏の年齢によって変わるんですね。それは知らなかったです。現在何羽飼育されているのですか？



小谷さん 約2,500羽います。昨年までは5,000羽だったのですが、今は鶏の鶏種を変えているところでして、昨年の3月からボリスブラウンという鶏種から岡崎おうはんという地鶏の鶏種に徐々に変えています。

上森町長 そうなんです。鶏種を変えようと思われたのは何故ですか？

小谷さん 今まで育ててきたボリスブラウンという鶏種は与えるエサも少なく、すぐく育てやすい鶏種で一般的にもよく選ばれている鶏なんです。他の養鶏場と差別化を図りたいという気持ちから岡崎おうはんという鶏種に変えました。この鶏種は卵はもちろん、お肉も美味しい最高の鶏なんです。



上森町長 品種を変えるといふ決断、挑戦ですね！通常、卵を産まなくなった鶏はどうなるんですか？

小谷さん うちでは1年半経過したら廃鶏として業者に渡しています。

上森町長 そう考えると岡崎おうはんは余すことなく使えていいですね！

小谷さん そうなんです！なので今後は能勢町観光物産センターのレストランで卵・お肉・米・味噌汁など能勢産で育ち、栽培されたメニューが出せたらいいな！と思っています。

上森町長 それはいいですね！能勢町の美味しいものが凝縮された定番のメニューになってほしいです。ふるさと納税も活用されてみてはいかがでしょう？小谷さんが育てられた鶏のすき焼きセットを返礼品として出したらすごく良いと思うのですが…。

小谷さん 今はそこまで手が回りませんが、今後ふるさと納税も視野に入れてみます！

上森町長 是非、よろしくお願いたします。これからも応援しています！本日はありがとうございました。



小谷養鶏場
▶ 能勢町山辺 256
☎ 072-734-0473

